



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2016-2017年度 第15週報 No. 1951 2016年(平成28年) 10月21日 第1951回 例会記録 10月28日発行

本日〈10月28日〉のプログラム

- ◆ 齊 唱 「手に手つないで」
- ◆ 献 立 洋食弁当
- ◆ 卓 話 「ロータリーの魅力
～女性中心のクラブ ー四半世紀の歩みー～
横浜あざみRC パスト会長 森 節子 様
(紹介者 石川 正三 会員)

<< 本日のBGM >>
アルバム「Brand New Melody」～ Sawako Hyodo ～



PHOTO 加野亮一 会員

司 会 白鳥 厚夫 副幹事

点 鐘 植田 清司 会長

齊 唱 「それでこそロータリー」

四つのテスト 横溝 亘 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介 井田 新輔 様 (ゲストスピーカー)

ビジター紹介 神奈川RC 樋口 明 様
綾瀬RC 関川秀三郎 様
横浜南RC 小原 淳 様

特別行事

◎新会員 大久保由美子 様 入会式



2016-2017年度 RI会長 ジョン F. ジャーム



第2590地区 ガバナー 高良 明

会 長 植田 清司	会 計 白井 康夫
会長エレクト 矢野 修二	副 会 計 河野 明光
副 会 長 西山 潔	S A A 田中 龍太郎
副 会 長 伊東 英紀	副 S A A 茂木 知子
幹 事 小山市 康	副 S A A 吉田 隆男
副 幹 事 白鳥 厚夫	クラブ会報 加野 亮一

例会日 毎週金曜日 0:30～1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和 51年 5月 29日

誕生日祝

大久保由美子 会員 (10月22日)



会長報告

植田 清司 会長

- ・10月度定例理事会報告

幹事報告

小山 市康 幹事

- ・区民まつりにお手伝いに来て下さった京都の学生からお礼状が届いておりますので回覧します。
- ・前年度の年次報告書が出来上がりましたので、ボックスへ配布致しました。
- ・ロータリーリーダーシップ研修会の案内が来ておりますので回覧致します。

*横浜港北ロータリークラブ

12月22日(木) 夜間移動例会
12月29日(木) 休会

*横浜鶴見北ロータリークラブ

12月22日(木) 夜間移動例会
12月29日(木) 休会

出席報告

但野真実子 出席委員長

会員総数	50名	(30+20)名	
出席会員数	39名	(24+15)名	
出席率	86.67%		
ゲスト	1名	ビジター	3名
前回補正後	88.37%	前々回補正後	93.33%

スマイルボックス

茂木知子 副SAA

神奈川IRC 樋口 明様 昨日行われました第4グループ会長幹事会では、植田会長、小山幹事、山田地区青少年奉仕副委員

長にお世話になりました。ありがとうございました。

綾瀬RC 関川秀三郎様 久しぶりに参りました。宜しくお願ひ致します。

横浜南RC 小原 淳様 本日はお世話になります

植田清司君 ①井田新輔様、本日の卓話、宜しくお願ひ致します。②大久保由美子様、入会おめでとうございました。楽しくやってみましょう。

山本 登君 最近、多忙です。

小山市康君 大久保さん、入会おめでとうございました。ロータリーを楽しんで下さい。

澁谷高弘君 結婚して47年、お互いに、健康で過ごせることに感謝しています。

金森欣一君 井田様、本日は卓話にお越し頂き、ありがとうございます。ドラフト会議と重ならなくて良かったです。お話を楽しみにしています。

吉田隆男君 大久保様、入会おめでとうございました。

茂木知子さん ~岡部氏が、例会に欠席して結婚祝いをもらえなかった理由~例会に出席して、結婚祝いをもらう予定だった岡部社長。社員に嫌われているのでしょうか、足場に昇ったところ、はしごをはずされてしまい、降りることができず、例会に出席することができませんでした。来年は奥様にはしごをはずされて、結婚祝いをもらえないなんてことのないようにして下さいね。

10月21日	10件	22,500円
本年度累計		661,678円

「『スポーツを撮る』 ひとりのスポーツフォトグラファーのよもやま話」

スポーツフォトグラファー 井田 新輔 様
(紹介者 金森 欣一 会員)



I 現在に至るまで

大学時代は写真部で活動し、卒業時、自分の関心があった写真関連、メディアなどを目指して就職活動を行ったが、かなわず運輸関連の会社に就職した。

入社3年目くらいから自分のやりたいことを模索するうちに一番関心があったスポーツ写真、なかでも母校である明大ラグビー部をテーマに撮影して作品集を作ることを考え、撮影した写真をアルバムにまとめてスポーツ関連の出版社に持ち込みをしているうちに自分の写真に関心を示してくれるところが少しずつ増え、89年暮れに会社を退職して活動を開始した。

現在に至るまで多くの人々との出会いがあったが、初めて撮影にグラウンドに足を運んだ時こころよく受け入れてくれたラグビー界の大御所・明大北島監督との出会いが一番大きかった。その時もし撮影を断られていたらおそらく今の仕事はしていなかっただろう。

また、駆け出しの自分に対して撮影のチャンスを与えてくれた編集者、取材に応じてくれた多くのアスリートたちなど、これまで仕事を続けることが出来たのは、良い人々との出会いと良い機会に恵まれてきたことが一番大きな理由だと考えている。

II スポーツを撮影する仕事

現在はラグビーと野球がメインに、試合やプレーヤーのインタビューなどを中心に撮影している。

媒体はスポーツ専門誌など定期刊行物、CS放送の番組宣伝素材等を中心に活動しているが現在はインターネット・デジタル関連の普及のためスポーツ関連のサイト等の仕事も増えてきている。

撮影は編集者サイドのリクエストに応じた撮影をするほかにも勝敗の分かれ目や活躍したプレーヤーなどを自分なりの視点でとらえるいわば付加価値をつける形で撮影を行っている。

私はアスリートの表情をねらって撮影する時は彼らの眼と口元の表情の動きに注意しながら撮影することが多い。特に眼は「目力」という言葉もあるように被写体となる人の個性や意志が一番明確に出る身体の部分であると感じるからである。

スポーツフォトグラファーはアスリートのダイナミックな動きを狙う人、太陽が醸し出す光と影の美しさにこだわる人などみな独自の世界観を持って撮影しているが、その個性を上手な形でアピールすることが仕事のなかで重要なファクターの一つだと思う。また、撮影を続けていくうちにアスリートの成長していく過程に立ち会えるという幸運にめぐり合うこともあるのもこの仕事の醍醐味といえるだろう。

III メディアはファンの代表者

プロ野球を取材するために必要なIDカードの裏には「個人的にサインをもらうことは固く禁じます」と明記されている。なぜならメディアに携わる人が恵まれた条件で取材できるのはファンの代表として多くの人々に向けてレポートする立場にあるからというのが理由である。

仕事に追われている時などつい忘れがちになるが、このことはいつも心に留めておくてはいけないことだと思う。

IV これから写真を撮り続けていくこと

現在スポーツに限らずメディアの世界はいろいろな面で速く進化していてこれからの仕事の展開について考えさせ

られる事も多い。自分はこれまである程度のキャリアを積み、仕事を進める上でのノウハウの蓄積も出来たかもしれない。しかし油断するとそれは長い航海をするうちに船底に付き船足を弱めてしまう海藻やかき殻のように古い固定観念として自分の思考や行動の足を引っ張る存在になる要素も同時にはらんでいる。

まだ仕事を始めて間もないころ仕事の進め方について迷っていた時、ある方から「最高の営業活動はいま目の前にある仕事を高いクオリティで仕上げること。そうすれば人は見ていてくれる」とアドバイスをもらったことがある。

今に至るまでいくつかの困難な局面があったが、ここまで続けて来られたのは、この一言が自分の仕事の基本になっているからだと思っている。

いつも一番身近な仕事にベストを尽くすこと、その延長でこれからもより多くのクオリティの高いスポーツシーンを撮影出来ればと考えている。

2016-17年度 7月～10月 テーブルミーティング報告

テーマ「会員増強について」

【第1テーブルミーティング】

平成28年8月18日(木) 18時～ 「URIDURI」

テーブルマスター：金森 欣一 サブマスター：角田 伯雄

今回のテーブルミーティングは関内にある韓国料理店で開催しました。お盆休み明けということで、参加される方が少ないのではと心配しましたが、会長、幹事ははじめ総勢13名の方にご参加いただき、活発な討議が出来ました。

まず、植田会長にご挨拶いただき、ロータリークラブ全体の問題でもある「会員増強」について討議致しました。

会員の増強というのは、現在の会員の退会の防止と新会員の勧誘の両方が機能してはじめて増強が図れることとなりますが、退会の理由が「高齢によるもの」「会社経営の悪化によるもの」の場合は引き止めることが難しいという意見がでました。また、退会理由は上記の様な理由が挙がっていますが、本音の部分があるのでは無いか？ということを探るのも重要だと思います。

やはり、新会員の勧誘も、現在会員の方が活動を続けていくのも、意義のある活動内容や相互の信頼関係が大切だということを再確認致しました。

会員増強には、まず会員の体力増強が大切ということで、たくさんのお肉やお酒を楽しんでいただきました。

また、開催したお店のオーナーは色々なルートで数名の会員の方が知り合いでしたので、一度例会を見学に来ていただければと思っています。

【第2テーブルミーティング】

平成28年10月21日（金）例会終了後「フェアウインドⅢ」にて
テーブルマスター：加野 亮一 サブマスター：江森 国一

会長挨拶の後、各会員の意見を聞き、討論しました。各意見を列挙します。

- 会長幹事会でも会員増強の話があった。退会者・入会者はいるが純増が大切
- 他人事ではなく、各自みんなが意識して会員増強をする必要がある
- 現役の人は入会は厳しいかもしれないので、例会の時間帯を変更する事も検討すべき
- 「この人は無理かも、入らないかも」と自分で決めてしまうのではなく、とりあえず声を掛けてみる必要がある
- JCを卒業した若い人などに声掛けしていこうと思う
- 今の世の中には「交流会」「経営者の集まり」がいっぱいあり、ネットですぐ検索できる。その中でRCの価値・差別化が必要だと思う
 - 勧誘する時のRCの価値としての意見
 - ・世界的にメーキャップでき、各地域の名士と出会える
 - ・色々な場面で自分の才能を試すことができる
 - ・腹を割って話せる仲間ができる
 - ・一生付き合える仲間ができる
- 各会員それぞれが自分のクラブが良いクラブだと思えば満足していれば、またそんなクラブにすれば人はちゃんと入る
- 同好会（川柳・温泉・ラーメンなどなど）楽しいクラブを作ること、皆が楽しむことで検討者に良い印象を与えることが出来る。是非、色々な同好会を結成して欲しい

意見としては以上です。

マスターとして加野からの感想・総括です。

「他の経営者の集まりや異業種交流会と比べ、RCの会員だからこその良さは、各自それぞれが、それぞれの違った良さ・価値を見つけていると分かりました。ですので、各自がRCや自分のクラブを心から好きになって、それを人を選ばず、相手に取りあえず伝えることが地道な会員増強に繋がるのではないかと思います。

【第3テーブルミーティング】

平成28年9月2日（金）18:00～「アクイラ・ウォランス」にて
テーブルマスター：岡部雄一郎 サブマスター：月山 勇

河野会員 いろいろな視点から見てもクラブ増強抜きでは、すべてにおいて前に進むことが出来ないと思いますが、まずは、今のメンバーがロータリーをいろいろな角度から理解して楽しむことが出来ない、新しいメンバーに伝わっていかないと

植田会長 収支計算の中で、あとプラス3人で安定したクラブ運営がはかれると思います。また、新たに迎える会員候補には、神奈川県ロータリークラブらしい内容と特徴を打ち出していくことが大切になり、新会員には何らかのメリットがつけられるシステムも有りではないかと思えます。

吉田会員 まだまだ神奈川県ロータリークラブには、入っていない業種が沢山あります。色々な職業の方と話が出来たら楽しい事でしょう。しかし、一般社会から見たロータリーの入会金・会費などが高いと言う認識です。さらに高齢化社会の中で年金型会費と一般会費と分けるのも、一つの方法ではないかと思えます

小山幹事 やはり人間関係が非常に重要ではないかと思えます。十人いれば、皆さん考え・意見が違います。その中でプラスの内容を前に進めて、マイナスの内容を改善していくことが大切であり、会員増強の為に、入りやすい環境作りが必要ではないか。

飯田会員 神奈川県ロータリークラブ理想の人数は60人がベストだと思う。その60人を目指して会員増強しなければならない。その一つの方法が、法人会などを重点的にまわり、アプローチをかけていくことが必要だと思う。さらに、ロータリーに対する誤解を改善して、魅力を伝えていくべきだと思います。

伊東会員 最近、色々な部分が緩くなってきたロータリーだが、高良ガバナーと会話してもう一度初心にかえて考える重要性を改めて感じました。また、ロータリー活動でのメリットは、自分で考えること、色々考えることが大切ではないか。自分自身で探すことが重要。

天野会員 自分が会員増強委員長を拝任していた頃は、平均4人～5人ぐらいい入っていましたが、今はなかなか厳しい状況になってきました。しかし可能性があればいろんな所に顔を出し、交流を深める事が大切になり、自分自身を磨くことにも繋がり、成長出来るのではないか。

石川会員 神奈川県ロータリークラブの現状は50人です、色々な意味で50人を下回ると厳しい状況になっていきます。これからの時代は、経営者だけでなく、サラリーマンの方も有りだと思います。その為には、入会金・会費の部分も考え直す必要性が出てくると思います。

茂木会員 私の役割は、特に新会員が女性の場合は、女性の立場にたち、女性が居やすい・過ごしやすい環境を整えることが役割だと思います。しかしながら、昨年増強委員長の時は入会者ゼロでした。反省するところがございます。昨年同様今年度も、会員増強に力を入れて頑張ります。

次回〈11月4日〉の予定

テーマ 「日本の印象」

米山学友 金 英奎 様
（紹介者 金森 欣一 会員）